

地域運営と負担軽減について



市民派連合
かみじょうもと やす
上條 元康

その他の質問事項

- ▼ 松くい虫被害について
- ▼ 公園の維持管理について

◆地域運営と負担軽減について

問 これからの地域コミュニティや自治会を維持して行く為に現状をどう捉えているのか。また、今後の取り組みをどう考えているのか。

答 市から自治会へ依頼する役員や募金などの業務の検討を行っている。関係課で構成している「地域共生社会推進チーム」において、自治会役員の負担軽減の取り組みや市から区への依頼事項の見直しも行ってはいる。今後も課題である持続可能な地域コミュニティの構築に取り組んでいく。

問 地域支援コーディネーターの活動状況について、見えてきた課題等はあるか。

答 地区により、問題も複雑化、多様化をしている。担い手不足を解消しながら、暮らしの困りごとに対する住民間の助け合いや繋がりを促す

取り組みを進めて行く必要性を感じている。
(地域づくり課)

◆支援対象児童の見守りについて

問 支援対象児童等の見守りについて、現状と課題、また、孤立化を防ぐ取り組みを教えてください。

答 気軽に相談できる窓口の設置。地域での居場所づくりの支援等を行っている。また、今年度から「世帯訪問支援事業」を実施する。支援員は、スキルのある有資格者を確保し、保護者や子供の悩みを聞きながら家事や育児の支援を行う。

(家庭支援課)



家庭支援課に設置された窓口

一般質問

障がい者福祉等の更なる充実を目指して!!



政進会
ひぐちちよこ
樋口千代子

その他の質問事項

- ▼ 少子化対策と子育て支援

◆第9期介護保険事業(支援)計画策定

問 令和6年度から8年度の第9期介護保険事業(支援)計画策定の中で、認定者数の要介護3、4の方の微増傾向と要介護5の方の減少傾向をどう考察するか。

答 要介護5の方は平成25年度をピークに減少に転じている。事業所の、心身機能の維持や回復への取り組みにより、要介護5の方が減り、要介護3、4の方が微増と考察する。

問 要介護3から5の方の在宅と施設入所の割合は。

答 令和5年3月末現在、要介護3から5の認定者数1046人中、施設入所者490人、在宅または入院中556人である。
(長寿課)

◆ボランティア支援室の利用状況

問 貸館でない保健福祉

センター2階ボランティア支援室の利用状況と夜間の施設管理と緊急時の対応は。

答 令和元年度平日昼間271件、夜間休日119件、計390件。昨年度平日昼間167件、夜間休日33件、計200件と約半数である。施設管理と緊急時対応は、昼間は社協、夜間は本庁警備員と連携している。
(福祉課)

要望 夜間は高校生、仕事帰りの若い人が参加しているが、途中の入退室が不便であり、利用が半減している状況である。移転も視野に入れ、自由に使えるボランティア支援室を要望。



ボランティア支援室の現状